

茨城県立太田第一高等学校・附属中学校6年間の育成計画

目指す学校像：「グローバルな課題の解決に挑む力」、「持続可能な社会づくりに貢献できる力」を育む学校

高等学校での学び 【④～⑥】

④

発展的な知識の蓄積と理解の深化

- ・各教科で学ぶ知識とその理解
- ・情報モラルを含む情報活用能力の育成
- ・調査スキル(必要な情報を収集する力)
- ・整理スキル
(思考ツールやICTを活用する力)
- ・ライフスキル
(生きる上で必要な考える力と行動力)
- ・自己理解、自己管理能力
- ・地域(世界)理解(フィールドワーク)

⑤

分析・活用する力の育成Ⅱ

- ・各教科で得た知識を用いて比較、分析、関連づけて整理する力
- ・自己と他者との比較
(相違を理解し認め合う力:ダイバーシティ教育)
- ・地域(世界)の課題を分析し、整理する力
- ・自己の知識と理解に基づいて確認する能力
(ファクトチェックの習慣化)
- ・データに基づいた分析(データサイエンス)
- ・協働して分析し、整理する力
- ・分析、整理した考えをプレゼンテーションする力

⑥

評価する力の育成Ⅱ

- ・各教科で学んだ知識、理解に対する自己評価(自らの学習を調整しながら学ぶ力)
- ・課題の解決に向けた最適解を検討する力
- ・評価に基づいた新たな課題の創出

課題対応能力、 応用力

これまでの知識・理解・
評価・分析の経験を、
未知の課題に応用しよ
うとする力

主体的に自らの学びを調 整する力

①

基礎的・基本的な知識とその理解

- ・各教科で学ぶ知識とその理解
- ・情報モラルを含む情報活用能力の育成
- ・調査スキル(必要な情報を収集する力)
- ・整理スキル(思考ツールやICTを活用する力)
- ・ライフスキル
(生きる上で必要な考える力と行動力)
- ・自己理解、自己管理能力
- ・地域(世界)理解(フィールドワーク)

②

分析・活用する力の育成Ⅰ

- ・各教科で得た知識を用いて比較、分析、関連づけて整理する力
- ・自己と他者との比較
(相違を理解し認め合う力:ダイバーシティ教育)
- ・地域(世界)の課題を分析し、整理する力
- ・自己の知識と理解に基づいた確認する能力
(ファクトチェックの習慣化)
- ・データに基づいた分析(データサイエンス)
- ・協働して分析し、整理する力
- ・分析、整理した考えをプレゼンテーションする力

③

評価する力の育成Ⅰ

- ・各教科で学んだ知識、理解に対する自己評価(自らの学習を調整しながら学ぶ力)
- ・課題の解決に向けた最適解を検討する力
- ・評価に基づいた新たな課題の創出

附属中での学び 【①～③】